

<病院>

役割：直接的、間接的情報提供

病院医師・
コメディカル
スタッフ

- 患者に運動の重要性を理解してもらうためにわざかなコメント（前患者ステージ用のコメント：こちらが用意）を述べ、運動指針パンフレットを配布してもらう。
- 退院前など患者教育において運動実践の重要性を説き（ハイリスク者用）、運動指針パンフレットを配布するように依頼する。ただし、禁忌に注意。
- 待合室に運動指針啓発のロゴ入りポスターを添付してもらう。

31

<関連学会>

役割：権威による保証、効果的な情報提供、
学会大会・活動における啓発の機会を依頼

メタボリックシンドローム提唱学会
体力医学会
体育学会
健康新教育学会
健康新支援学会
健康新心理学
その他の関連団体
健康新NPO団体

- 学会に対して、運動実践の必要性について社会に向けた声明文を出すように依頼する。内容は、運動指針とできるだけ一致するように、また運動指針が公刊されていることについても付加してもらう。
- 学会ホームページから厚労省ホームページにリンクできるようにしてもらう。
- それぞれの学会大会や活動の場で、運動指針啓発とリンクさせてもらい、厚労省サイドから講演、説明、ワークショップの機会を増加させてもらう。
- 学術総会・大会開催時、または別に厚労省後援の公開シンポジウムを開催してもらう。

32

<省庁および厚労省関連団体>

役割：権威による保証、効果的な情報提供

厚労省
総務省
文科省
経産省
健康・体力づくり
事業財団
中災防
その他の関連団体

- ホームページの活用
 - 運動指針啓発のロゴの共同利用
 - 関連ホームページとリンク
 - 省庁、関連団体の共同声明およびロゴマーク
 - それぞれの活動における運動指針の利用および同時に使用（例：文科省子どもの体力向上実践事業とのジョイント）
 - 季節ごとのキャンペーンでアピール
 - 運動指針活用に積極的に協力している企業・地域・団体に「協力認定」を与える。

33

<フィットネス関連産業>

役割：効果的な情報提供、
商品・機器にロゴマーク

健康関連製品・
用品会社
自転車製造会社
商業フィットネス
クラブ
その他

- 商品パッケージに運動指針にある標語の印刷を依頼
 - 合わせて会社あるいは商品のロゴとキャンペーンロゴ（厚労省）を併記することによってパートナーシップを強調
 - フィットネス施設内にロゴ入りポスター貼付の依頼
 - 啓発パンフレットの配布を依頼
 - インストラクターの話題の中に指針内容を入れてもらう。
 - 運動指針の積極的普及を行っている会社・施設に厚労省「協力認定」匾またはステッカー（ロゴ入り）を与え、公表できるようにする。

34

<交通機関>

役割：効果的な情報提供、駅階段利用の推奨

鉄道
バス
その他

- つり革広告、駅構内において運動指針に関するポスターを貼付してもらう。鉄道会社のロゴとキャンペーンロゴ（厚労省）を併記することによってパートナーシップを強調してもらう。
- 運動指針のアピールと並行して、階段設利用を促進するために階段利用者の差別化（エレベーター・エスカレーターは体の不自由な方のみ利用するところであり、意識して階段を歩きましょう）を行ってもらう。
- 「運動指針活用週間」を決めて、駅および車内アンダースをお願いする。
- 階段、エレベーター、エスカレーターに自動音声で運動指針の存在をアピールしてもらう。

35

<自動車・バイク製造会社>

役割：運動不足による弊害について情報提供

自動車会社
レンタカー会社
その他

- 乗り物に依存しない生活への注意を喚起させる文言を説明書に入れてもらう
- 運動指針ロゴの標記とともに指針が発刊されたことを知らせる一文をいれてもらう

36